

2021年4月12日

放射能汚染水の海洋放出に反対します

原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟

会長 吉原 毅

顧問 小泉 純一郎

顧問 細川 護熙

副会長 中川 秀直

幹事長 河合 弘之

事務局次長 木村 結

政府は4月13日、東京電力福島第一原発事故によって発生した放射能汚染水を海洋放出することを閣議決定する予定だと報道されています。

昨年、政府が募集したパブリックコメントには4011件もの意見が寄せられ、海洋放出に反対意見が2700件ありました。漁業者の反対はもちろん、福島の農業者や市民も更なる被害を心配して反対しています。報道機関の世論調査でも、海洋放出に反対55%、風評被害に不安86%となっています。

現在ある約1000基のタンクは劣化が進んでおりますが、新たに大容量タンクを設置すれば敷地内に収め長期保管することは可能です。モルタル固化（汚染水にモルタル剤を混ぜる）するよう専門家からの提言もあります。

トリチウムの有害性、健康被害の恐れに関する学説もあり、トリチウムを除去する新技術も開発中であることから、単に『薄めて流せば安全』と拙速に決めつけていいものではありません。

この件は、国の内外にわたる重大問題であるにもかかわらず、政府は国民の声を本気で受け止めず、国会で議論もせず安易に海洋放出を決めることは、周辺諸国はじめ国際社会に対する責任の観点からも、人道上、人権上の見地からも決して許されることではありません。

以上